

広報

# かわにし

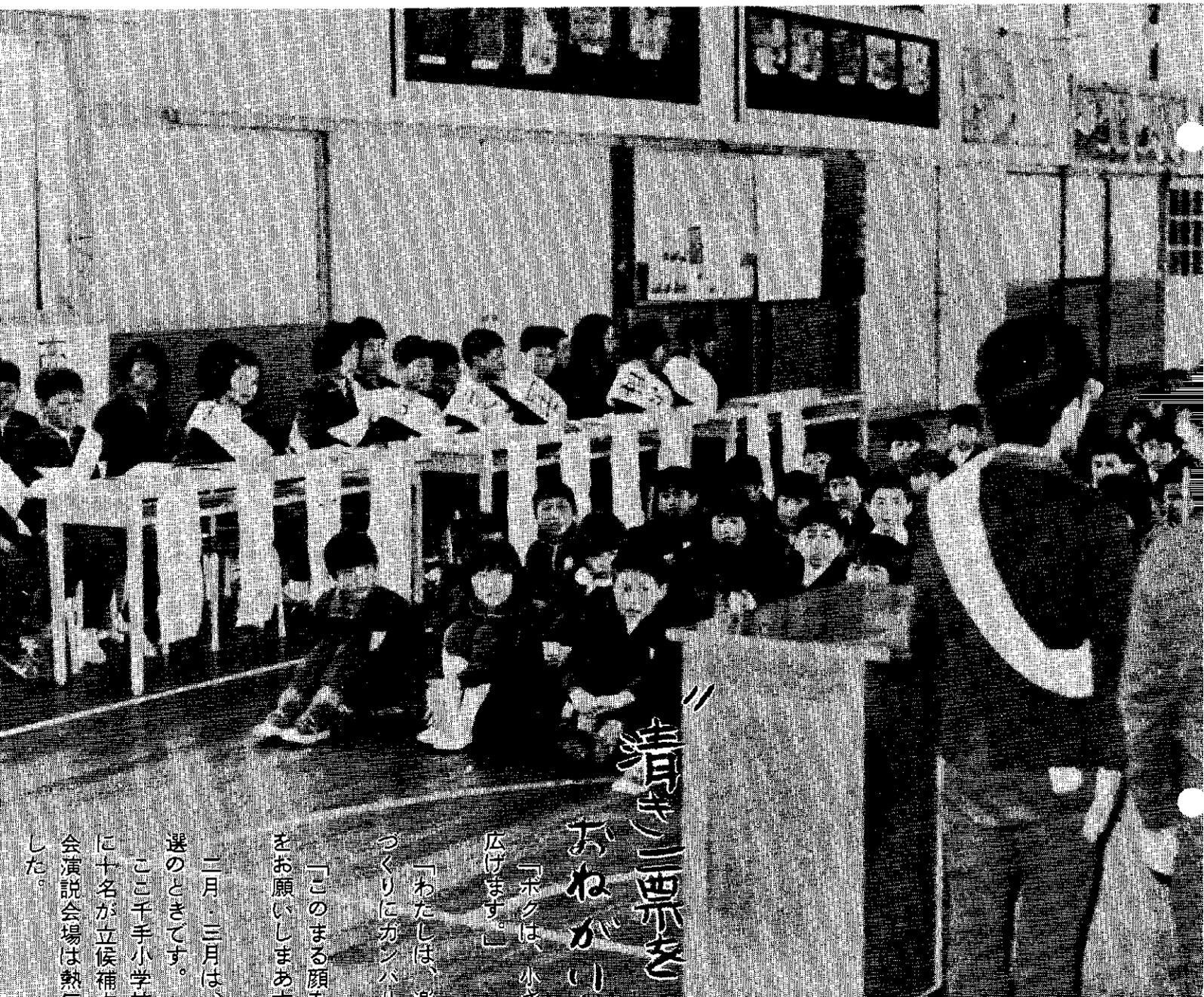
昭和52年 3/10 No.223

人口の動き  
—3月1日現在—

男	5,162 (+3)
女	5,236 (+10)
計	10,398 (+13)
世帯数	2,357 (+1)

( )内は前月比較

発行 川西町・町長 根津正三 編集 企画室広報係 定価1部5円 印刷 白南風社



清き一票

おねがいします

「ボクは、小さな親切を校内いっぱい  
広げます。」

「わたしは、楽しい学校、明るい学校  
つくりにかんがります。」

「このまる顔をお忘れなく、清き一票  
をお願いします。」

二月・三月は、どこの学校でも役員改  
選のときです。

ここ千手小学校でも、一名の児童会長  
に十名が立候補するという激戦ぶり。立  
会演説会場は熱気に満ちあふれていま  
した。

### 3月の休日救急医

18日	池田	医院	2-2581
20日	富田	医院	2-3264
21日	庭野	医院	2-2711
27日	中条	病院	7-3018



◎相談◎

3月16・23・30日  
4月6・13日

# 議会報告

## 審議中……52年度予算

### 目玉は町民体育館の建設 モデル事業の着手も

新年度の予算案がまとまり、先月二十八日に招集された、第一回の定例議会が審議中です。提案した予算規模は、一般、特別会計の総額で二十一億三千四百八十万円。去る七日には、町長の施政方針が述べられ、以後本会議、委員会と審議を継続しながら、十八日には、全会計とも成立させる予定となっています。今月は、議会初日の条例改正、及び予算案の大きな点についてお知らせいたします。

#### 母子センターの使用料などを改正

二十八日には、五十一年度の一般会計の補正(専決)ほか、新年度予算に関連する条例改正が行われ

れました。一般会計の補正は、千二百五十万円追加ですが、そのほとんどが、先の異常豪雪にまつる除雪経費です。条例改正の主なるものは、役場機構が一部改正され、四月から保険課がなくなり、保険係として、健康管理室に包含されることになりました。

母子健康センターの使用料金が四月から次ようになります。分燃料一万八千円が二万円に、深夜加算料三千円が三千五百円に

入所料、特別入所料一日三千円が

それぞれ一日四千五百円に、管外加算料一日二千五百円が三千円に  
◎総合センター分館の寄贈入居料が、四月から一人月五千円に。  
◎幼稚園の保育料が、四月から年額六万円に改正されました。そのほかの条例改正は、  
・特別職の給与に関する条例  
・教育長の給与等に関する条例  
・議会議員の報酬等に関する条例  
・特別職で非常勤のもの報酬等に関する条例  
・職員の旅費支給に関する条例  
・農業共済条例などです。

この議会では、次の三つの請願が出され、関係委員会に付託されています。  
・稲条一南原線通学道路舗装工事施工請願  
・稲条中間砂利道及び清竜寺線舗装工事請願  
・人工透析患者及び長期腎疾患患者の救済について

#### 嘱託員紹介

- 〔橋 地区〕
- 仁田・須藤亮助
- 〔仙田地区〕
- 中仙田・南雲哲治、○室島・高橋重英、○高倉・青木和希、○赤谷・田村武良、○大倉・中條与之助、○小白倉・片桐一郎

十二月議会が委員会付託となっていた、精神病患者に対する医療費助成並びに家族会活動費の助成に関する請願は、委員長報告ののち採択となりました。

#### 52年度の予算案

##### 苦しい歳入 借金への依存さらに大きく

昭和五十二年の予算案は、別表円グラフのように、一般会計十五億八千万円、特別会計総額五億四千四百八十万円(水道企業除く)となりました。

その他にも、ことしも例年以上のきびしき、町の台所は窮屈になる一方です。

一般会計を、前年当初と比較してみますと、六・八パーセントの伸び率、もっとも、前年対前々年比では二・三パーセントの伸びですので、率の面ではわずかながら増えています。

特別会計の全部を包含した場合でも八・七パーセントの増、この程度の増は、人件費、物件費などのスライド的なアップで消えてしまいうるかも知れません。

新年度事業の大きな目玉、それは、町民体育館の建設に代表されるように、二年連続で、新年度には全体の二割にのびる工事量となる見込みですが、懸案の体育館も目前となりました。

また、橋小学校の屋体建築も計画され、歳出中の教育費は、全体の二〇・八パーセントをしめること

となり、

なほ、農村総合整備のモデル事業も、金銭的にはわずかですが、スタートを切る年となりました。

一方、新年度には、二次橋の事業が終盤を迎えることもあって、国県補助金が大幅に減少しました。国県補助金の減少に加え、福祉道路建設などは、重点事業として増額していますので、伸び悩む歳入は、いさかい「借金」への依存が大きなものとなります。

これからの町税や地方交付税の伸びに、大きな期待を寄せていますが、町の借金といわれる起債は予算全体の十五パーセント弱を見込んで編成しています。以下、主な事業は別掲。

ね・ん・きん  
あなただの老後をより豊かに付加保険料を納めましょう

だれしも老後の生活は安定したものでありたいと願い、いろいろのことを考えます。ところで、国民年金に付加保険料制度があるのをご存じですか。

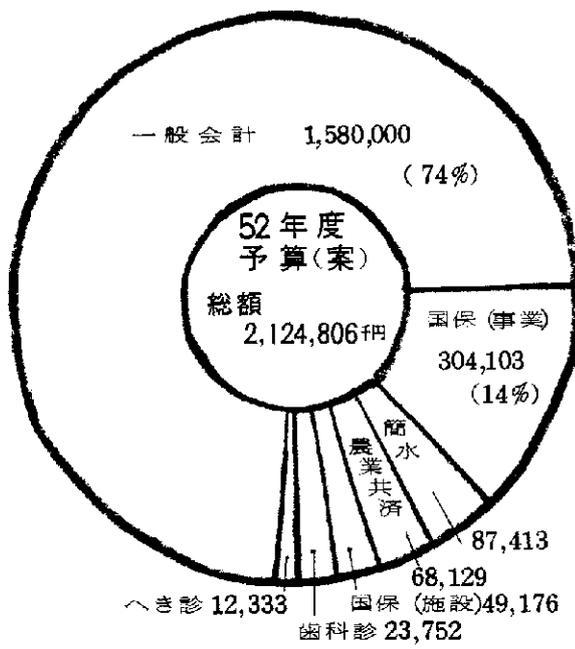
付加保険料とは、もう少し多く保険料を納めてもよいから、より高い年金を受けたらという加入者の要望から生まれた制度です。

この制度は、定額保険料(月千四百円、四月からは二千二百円)のほかに、月四百円を足しまえして納めるものです。そして、納めた期間に応じて、定額年金に加算した年金が受けられます。

例えば、定額保険料を二十五年納めると、老齢年金額は三十九万円ですが、付加保険料を納めていると、六万円増額し、四十五万円となります。

しかも、二十五年間も納めた付加保険料の総額は、十二万円ですから、この金額は年金を二年間受けられると、もどかるとる勘定になります。こうしてみますと、付加保険料を納めることは、あなたの老後にとって、大変有利な財産づくりといえます。

なお、この付加保険料制度へは、保険料の免除を受けている人を除いて、だれでも加入できます。



# 無火災（建物）530日！！

## 春先きも気をゆるめずに

町では、昨年建物火災が一件もありませんでした。これにより、五十年九月から続いている無火災（建物）は、今月一日まで、五百三十日の記録となります。町民各位の火災予防に対する関心の高さを、本年も継続し、二年連続の記録が達成できますよう、お願いします。

年の火災発生は、十日町市 二十一件（建物十四件）津南町 六件（〃）三件 中里村 四件（〃）四件 川西町 一件（〃）〇件となっています。止へんに、冬から春にかけての火災が多く発生していますので、十分ご注意ください。石油ストーブ、ふろがま、こたつなどは、正しい取扱いを！！



火事・救急は一一九番

火災・事故とも、春先きの心のゆるみが大敵です。くれぐれも用心を！！  
一般物件は有放二一五〇番か、電話八一二〇七五番へ、おかけください。  
〔消防分遣所から〕

### なだれに注意しましょう！



異常豪雪で、物心両面にわたる大きな負担を受けた冬でした。人身事故の無かったのが、せめてもの救い、といったところででしょうか。でも、これらの融雪期は、全層なだれの危険が各地にあらわれます。危険地帯では十分ご注意ください。

▲なだれの被害の受けた家屋。2月16日岩瀬で。

## 52年度の主な仕事

単位：千円

### 【総務費】

- ・農村総合整備事業 26,335
- ・仙田保育所ほか用地購入費 31,026
- ・参議院議員及び町会議員選挙 3,200

### 【民生費】

- ・老人クラブ運営費補助 1,490
- ・児童手当 18,120
- ・老人医療費扶助 36,804

### 【衛生費】

- ・成人病検診等 3,911
- ・妊産婦乳児医療費助成 2,200
- ・衛生施設組合負担金 28,980

### 【農林水産業費】

- ・農協有線放送補助 5,000
- ・基盤整備事業補助 10,000
- ・二次構近代化事業補助 11,980
- ・林道開削工事等 17,000
- ・造林事業 30,040

### 【商工費】

- ・町商工会補助 2,200
- ・地方産業育成資金貸付金 5,000

### 【土木費】

- ・道路新設改良舗装等 151,232
- ・準用河川改修等 9,936

### 【消防費】

- ・広域消防負担金 66,649

### 【教育費】

- ・川西高校整備補助 3,000
- ・橋小屋体建築等 73,000
- ・千手小用地買収 18,000
- ・スクールバス委託 8,174
- ・町民体育館建設 69,270

### 【災害復旧費】

- ・農林水産施設復旧費 11,071
- ・公共土木施設復旧費 4,747

### 【その他】

- ・住宅購入費 17,761

# 峠を越えた「二次構事業」

## 前進にはさらに

### まわしの締めなおしを

農業の近代化をめざして、昭和四十八年から進めてきた「第二次農業構造改善事業」も、東部第二第三地区の最終年次を残すのみとなり、建設面での山場をこえることになりました。

この四年間で実施した主な事業は、別表①のとおり、総事業費はなんと十四億円以上の巨額にのぼりました。

## 成果

### 余剰労力を他部門へ 向上した農家所得

国の農政が「一政とか、ねこの目農政と批判される中において、わたしたちの町は、産業の中心を農業とし、その近代化に努めてまいりました。

「米作りを近代化し、余剰労力を他方面にふり向けることこそ、農家所得の向上につながり、ひいては町発展の基となる。」、これは、町総合開発計画に表わされた指針でもあります。この軌道を地域民が一体となって進むことができました。二次構での最大の成果はここにあると思われまます。

計画当初には、余剰労力をどうするか？、現有農機をどうするか？、事業費負担に耐えられるか？など、さまざまな問題もありまし

関係農家をはじめ、町民各位のあたたかいご理解とご協力に支えられ、これらの大事業が、短期間に、しかも、円滑に実施できたことを、心から感謝いたします。

ここで、今まで進めた事業の成果や、問題点を省りみるとともに今後の進み方などについてもお知らせし、なお一層のご協力をお願いいたします。

たが、時代の流れや、各位の事業趣旨と理解により、ほぼ解決してきています。

稲作で減じた労働力を、他の部門で換金することにより、家計の維持ができ、豊かにもなったのでしよう。弱小規模の農家が、個々に機械化を進めたとすれば、それこそ大きな経営赤字となったに相違ないのです。

この点を数字で表わしたのが別表②です。つまり、わずか十分の一以下の出資で、個人装備の数倍の最新鋭機が装備できたのです。

このようにして、ガツチリとした生産組織ができ、安心して他部門に収入を求めることができるようになりました。

別表① 第2次農業構造改善事業実績

単位……千円

事業種目	事業主体	事業量	事業費	うち補助金
土地基盤整備事業	川西町 町土地改良区	連絡農道 4路線 3,399 m 農地造成改良 4か所 11 ha	116,375	78,810
水田作協業施設	鶴霜生産組合 外 15組織	トラクター 29台 田植機 60台 コンバイン、自脱型 52台 普通型 3台 農機具格納庫 14棟 除雪機 1台 育苗施設 3か所 ライスセンター 3か所	865,990 (27,037)	418,606
特用作協業施設	鶴霜たばこ生産組合 外 2組織	トラクター 6台 たばこ移植機 4台 防除機 7台 堆肥施設 1基 葉編機 20台 乾燥施設 18棟他	89,975 (51,949)	19,011
総合地域施設	町農業協同組合	農業構造改善会館 1棟 農機具修理施設 1棟	119,810	59,905
畜産団地造成	千手養豚団地組合 外 2組織	養豚団地等 3か所	204,008 (32,286)	85,861
農業経営整備事業	町農業委員会	農地の売買及び貸借等 27 ha	22,985 (20,432)	1,275
計	受益戸数 1,642戸	うち直接的 909戸	1,419,143 (131,704)	663,468

※ 昭和52年度計画及び特認事業、緊急対策事業を含む。  
( )内は、事業費内に含む単独融資事業費を示す。

## 問題点

### 気象条件などで 不測の事態も

一方、東部地域で未整備であった西山台地も、緩傾斜地からたばこ畑の開発が進んでいます。下降の途であったたばこ栽培が、二次構実施以来十五ヘクタールも増えました。稲作、畜産面とともに、自立をめざす中核農家群が生まれつつあり、一大快挙といえます。

成果の陰には、いくつもの問題もありました。その一つは、養豚団地の公害問題であり、二つは、ライスセンターの糞がら処理、また、事業実施

その対策に努力してきました。しかし、国県の専門家による計画審査、現場踏査、施工中指導、出来高検査などを経て、より堅実を願いながら進める事業も、ときには不測の事態が発生することがあります。環境条件や気象条件（とくに五十一年度の農道、農地造成事業では、異常降雨が災いしたの影響を、多分に受けることをご理解願いたいものです。

もちろん、これらは今後の農政企画、事業推進において、十分配慮しなければなりません。畜産公害については、対策協議会も設置され、真剣に検討をしていただいています。糞がら処理とともに、ただやっかい視するばかりでなく、有機質資源の有効利用という面からも、活用の方途を検討中です。

### より強化したい生産組織 国県事業の導入を さらに検討

農業を中心に進む人、また、他に職を求めた人が、ともに安心して生産に励むためには、なんとといっても、今ある二十六の生産組織をより強化しなければなりません。

そのためには本来の二次構の早期完了はもとより、さらに、生産組織育成対策事業、農作業安全対策事業などの国県の補助

## 今後

# 歴史を閉じる千手の定校 伝統は川西高校に継承

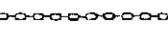


(思い出にひたりながら…総合センターでの惜別会)

長いあいだ親しまれてきた「千手の定時制」(正確には、十日町高等学校川西分校定時制過程)が、今月末をもって、その歴史をとじることになりました。希望者の極端な減少で、これ以上継続することが不可能となったもので、すでに、四十九年から募集を停止していたもの。町内では、去る四十七年の仙田分校に次ぐ閉校で、これにより、伝統ある定時制の灯は、この町から消えることとなります。とはいっても、ご存知のように、町には全日制高校が実現して

ご記憶の方も多いことでしょうが、千手に定時制の分校ができたのは、戦後の混乱期昭和二十三年六月のこと。この表現のかけには、当時青年学校に学ぶ人たちが、向学心に燃える青年たちの奔走が大きく功を奏したといえます。

当時の模様を、第一回の卒業生は、次のように語っています。「創立と同時に入学した生徒はなんと二百五十余名、千手小学校の小さなつくえを利用しての授業は窮屈そのもの。人数が多いためつくえのない人も多くいました。教科書も満足なものがなく、長岡の印刷屋まで行って、ガリ版刷りしてもらったことを覚えています。本校から通う先生のために、自転車を買ったり、生徒が米を運んで先生の夜食を作ったり、こうした費用は、生徒たちが映画会を作り作り出したもの。今では、みんな楽しい思い出になりました。大勢の入学者も、卒業のときには三十七名ほど、強い向学心も当時の情勢や、家庭の事情から折せざるを得なかったのです。……」と。



以来二十九年、様々な曲折は時代背景とでもいうのでしょうか。四十年当時は、百三十四名の在校生を誇ったときもあったのですが、その後急速に生徒数が減少してしまつたのです。

この間の卒業生は、五百八十六名、その半数近くが現在の地で活躍されています。

## 国保保険証の切りかえ

### 4月からはピンク色です

四月から、国民健康保険の保険証が新しく、ピンク色のものに切りかわります。いま使用されているみどり色の保険証は、今月末で無効になりますので、ご注意ください。この機会に、保険証に書かれている被保険者氏名などに、まちがいがいや、異動などがある場合には、早めに保険係まで届出てください。

また、早くに保険係まで届出た方がよいので、ご存知のように、保険証は国保の被保険者であるという証明書であり、同時に、お医者さんの診療を受けるときの受診券の役目を果たす大切なものです。

この保険証の引きかえを今月下旬に嘱託員を通じて行いますので、みどり色の保険証をともに保管しておいてください。

また、修学のため(学)の保険証をお持ちの方は、今月中に保険証と印鑑を持って、保険係までお

いでのおえ引きかえ手続きを。出かせぎ中で、(特)の保険証をお持ちの方は、帰町後すぐに保険係で手続きをしてください。

良卒業や町行造林、また、五十二年度には、中核林業地域指定希望を国に陳情するなど、町内の緑化に力を注いでいます。

緑ゆたかな環境づくりに、ごぞって参加いたしましょう。

なお、昨年の募金運動の実績は八万三千四百円、このうち、三万八千四百六十円が町に還元され、川西中、上野小、白倉小の校庭緑化に役立てられていますので、ご協力をお願いします。

農政問題について、ご意見がありましたら、農政係に直接お寄せ願えれば幸いです。

別表② 水稲作機械化資金の比較

52.2 農協調

機械施設名	個人 (地区の平均値とみ)	共同 (2次構の平均)
育苗機	117,200円	水田作施設費金額
播種機	24,000	852,990円
トラクター(15PS)	1,091,000	うち補助金
田植機(2条)	283,000	412,106円
防除機(背動)	66,000	差引参加者負担金
コンバイン(2条)	1,425,000	440,884円
乾燥機	653,000	参加面積
調整機(2.5吋)	145,000	719.8ha
米運トラック	62,000	1ha当り平均出資額
軽トラ	577,000	613,000円
作業場(格納庫)	2,000,000	その他
電気施設		20,000円
計	6,393,200円	633,000円

## 町をみどりに 緑の羽根募金にご協力ください



来月一日から、三十日まで、県下いっせいに「緑の羽根募金運動」が行われます。

町的目標は二千五百本、金額にして約八万円です。

ご承知のように、町では林分改



神社町の清水喜作さんから、山どりのはくせいをいただきました。町長室で美しい姿を誇っています。

### 善意をありがとう

#### 公共建物の無料修理を

町職人さんが申し出  
# 雷害による公共建物の破損は私たちが善仕活動いたします。  
このほど、町建築組合及び町建築企業体の代表四名が役場へ訪れ

### 結核・成人病

#### 検診のお知らせ

例年のとおり、結核予防検診(レントゲン撮影)及び、成人病検診を四月十一日より実施します。

自分自身の健康のため、家族の健康のため、全員が検診を受けられるよう予定してまいります。  
また、三年間未受診の方が非常に多いため、ことは未受診者の検診も保健所で検討しています。  
成人病で亡くなる人は、全死亡者中六割もしていますので、検診の機会をお見のがしなく!!  
※期日 四月十一日  
五月二十六日

※対象 家十五歳以上の町民全員(ただし、学校、職場で受け

### 糖尿病検診は

#### 来月十五日

食生活の改善、日常生活の機械化などにより、年々糖尿病患者が増えています。  
次により、糖尿病検診を行いますので、ご利用ください。  
なお、今回は、糖尿病検診等で「境界型」「糖尿病型」といわれたことのある方、及び、集団検診等で尿に糖が出たことのある方を対象としています。  
糖尿病は、日常の食事管理が大切です。その是非を見るためにも受診してください。

※期日 四月十五日(金)  
※場所 総合センター

つそく修理か所の調査を行って、この善意の奉仕を受けることにしています。

### 香典返し

東善寺の高橋孝一さんから、母トキさんの香典返しとして三万円を社会福祉にいただきました。

### 千手局前に

#### 百円玉公衆電話

千手郵便局前に、黄色の公衆電話が登場しました。  
この電話は、十円玉のほか百円玉でも使用できるもので、とくに遠距離通話や、長電話のときに便利です。  
しかし、百円玉を使用した場合百円未満の端数料金は切りあげになり、つり銭が出ませんのでご注意ください。  
したがって、近距離や短時間のときは十円玉で、長距離、長通話のときは百円玉を使用すると便利です。



### 農耕用軽油の免税証

#### 24日に役場で

次により、農耕用軽油の免税証を出張交付します。  
日時 三月二十四日(木)  
午前九時三十分~四時  
会場 役場四階委員会室  
申請に必要なもの  
イ 印鑑 共同の場合は全員の印鑑  
ロ 耕作面積証明書(農業委員会へ交付)  
ハ 使用機械の証明書(所有証明・借用証明) カタログなど。

### 戸籍の窓から

うが声ーおすこやかに

- 太田 昌子 米造 二女 沖立
- 太田 綾 幸夫 長女 田中町
- 山口 深雪 良一 二女 仁田
- 若山 勝美 幸治 二男 新町新田
- 平野 清恵 良二 長女 中島町
- 丸山 真由美 和昭 長女 学校町
- 西野 一巳 利一 長男 発電所通
- 羽鳥 貴志 忠義 長男 中屋敷
- 平野 由布子 啓介 三女 東善寺
- 中島 雅文 和雄 長男 中島町
- 高津まなみ 敏 二女 塩辛
- 長谷川由和 三代治二男 大白倉

### 2月の交通事故発生件数

件数	0	件
死者	0	人
傷死	0	人
酒気おび	0	人
酒	0	人
よ	0	人
い	0	人
おび	0	人

### 税務署からのお知らせ

今回の大雪で、災害を受けたり通信交通が途絶えるなどで、申告期限や納期限などについてお困りの方は、税務署か税務相談室におたずねください。

### たかさこーご円満に

- ◎ 新郎 高津 徳治 寺ヶ崎
- ◎ 新婦 藤巻 幸 塩 幸から
- ◎ 新郎 廣川 秀章 仁田
- ◎ 新婦 杉山多津江 岐 卓から

### 昇天ーごめい福を祈る

- 戸田サワノ 新町新田 五九
- 高橋 正美 赤谷 六六
- 高橋 トメ 赤谷 七〇
- 南雲喜平治 田中町 七四
- 滋野 秀治 野口 七六
- 丸山 清策 根 八四



### かわにし 俳壇

太田白南風選  
上野 今井 譽天  
◎ 雪虫の空に春めく日射しかな  
評暖かい春の日射に雪虫がとび立っている。空に春めくというところで雪解時の暖い日がわかる。  
簡単に言い切った佳句。  
上野 入沢 宏子  
◎ やわらかき空の色なり春めきぬ  
◎ 雪国の春の日射しがありがたき  
評 船色の空から解放された春を空の気配から感じとった句やわらかき空の色なりと素直に表したのが佳い。  
赤谷 登坂 酔月  
見馴れたる筆の大きな賀状かな  
春めきて隣家の笑い近くして  
春めきて草履根ぬくく乾きをり  
春日和老の身痛みやわらきて  
大倉 金子 洋右  
蕨のとう土ほろほると陽に照れ  
春浅し川面になびき糸柳  
小白倉 片桐 玉章  
風花やリフトの客のまばらにて  
三領 高橋たかし  
店先の花に吹雪けり春浅く  
啓誓と層にあれと雪五尺  
上野 清水けい子  
早春の店先かざる鉢の花  
千手 丸山 与喜  
春めきて子等雪山に戯れて  
松風園 南雲 文峯  
春の日と想う矢先の今日は雪

### ◎かきのことつ句会

三月二十七日、午後一時月見荘にて課題「雪解」